



19 墨都整都第82号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

墨田区長 山崎 昇



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平素より、本区の道路行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

平成19年4月2日付け国道企第114号にて依頼のありました標記の件につきましては、別紙のとおり回答します。

担当 都市計画部都市整備担当都市整備課
事業調整担当 天海
電話5608-6263

1 道路政策の重点化を進める上で特に優先度の高い政策

成熟社会の到来と価値観やライフスタイルの多様化によって、多彩な区民活動が繰り広げられる中、魅力や活力あるまちづくりを進める上での喫緊の課題は、遅れている環状道路及び都市計画道路の整備、歩行空間のバリアフリー化などの事業を推進していくことであると考えます。また、渋滞緩和のための交差点改良や、安全で快適な歩行空間を確保するための自転車道の検討なども必要である。

これらの実現には、様々な創意工夫による着実な社会資本整備とともに、快適な都市再生を図っていくことが肝要であり、本区においては次に掲げる政策について重点化し、優先的に進めていただきたい。

- (1) 墨田区都市計画マスタープランにおいて、未整備幹線道路の整備促進を位置付けており、特に一般国道や都道の都市計画幅員を整備することにより、慢性化する交通渋滞に対処し、時間的ロスの軽減と周辺環境の改善に繋げていただきたい。
- (2) 本区では、押上・業平橋駅周辺地区に新タワーが建設されることに伴い、当該地区を中心に、錦糸町駅地区、両国駅地区を結ぶルート为主要な観光路線として考えている。このため、ルート周辺の一般国道や都道の道路拡幅とともに電線類の地中化を重点的に整備していただきたい。これにより災害に強い道路となり、緊急輸送ルートとしての機能も担うことができると考える。
- (3) 区道においても、新タワー周辺地区の魅力ある快適な道路整備を行うこととしているため、まちづくり交付金等の国庫補助金の支援や充実をお願いしたい。
- (4) 差し迫る直下型地震に備えて狭隘道路の拡幅整備が急務となっているため、拡幅整備に関しての国庫補助金制度の創設をお願いしたい。
- (5) 道路及び橋梁等の既存社会資本の適切な管理を行っていくため、道路施設の保全と再生に係る国庫補助金制度の創設をお願いしたい。

2 道路政策の効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

本区では平成17年に「墨田区基本構想」を策定し、協治（ガバナンス）を基本方針として掲げている。これに基づき、限られた財源の中で、質の高い社会資本を着実に整備していくためには、次のような対策を重視するべきであると考えます。

- (1) 情報の積極的な提供とアカウンタビリティの向上を図り、住民参加を積極的に進めるとともに双方向での合意形成に努める。そのためには、パブリック・インボルブメントの手法を活用し、住民との協働によりコスト縮減や事業について十分協議しながら、きめ細かなまちづくりを行なっていく。
- (2) 事業の効率的な推進とコスト縮減を進める考え方を明確にするため、事業の必要性と効果を評価する仕組みを構築し、広く解り易いものとする。また、ライフサイクルコストにわたるバリューエンジニアリングの検討を行い、工期、工事費の縮減を図り、施設の長寿命化を促進する。